

KANAGAWA



社団法人 神奈川県建築士事務所協会
URL <http://www.j-kana.or.jp/>
E-mail info@j-kana.or.jp

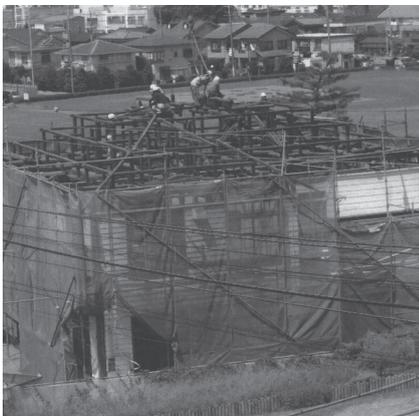
2011年
6月号

VOL.356



HP情報

○平成23年度「住まい・まちづくり担
い手事業」の募集の開始について
の実施について



目次

- | | |
|----------------------|------------|
| ① 建築探訪 | ⑫ 委員長会報告 |
| ③ 今我々にできることは | 賛助会フェア開催報告 |
| ⑤ 歴史的建造物 | ⑬ 会員の広場 |
| ⑥ 神事協・地曳網大会開催報告 | 旅のクイズ |
| 日本丸イベント出展報告 | ⑭ 事務局便り |
| ⑦ シリーズ ぶらり街並み散策（鎌倉編） | 編集後記 |
| ⑨ ⑩ 支部だより | |
| ⑪ 第55回通常総会開催報告 | |

被災された単位会の仲間へ全力の応援を!!

海老名市立郷土資料館（旧温故館） 新装オープン

海老名支部 中川 元宣

大山街道は江戸庶民の大山詣の道として、赤坂御門と大山を結ぶ道路の一つであった。数年前、川崎国道工事事務所が立ち上げた大山街道R246地域間ネットワーク交流会に加わり、大山街道の踏破に参加しました。社寺や道祖神、道標、庚申塔など多くの見所だけでなく自然景観や地形、地名、町村の歴史を知る楽しいルートであります。そのルートの中に古くは天平時代（聖武天皇）から開かれた相模国分寺史跡があります。その地域は、江戸時代



海老名市立郷土資料館・海老名市温故館

は国分宿として栄え、明治7年に旧海老名村役場が建設され、その後歴史を経て“旧海老名市温故館”として利用されてきました。建物の耐震上の問題もあり、平成18年、耐震診断の結果、震度6程度の地震でも倒壊の恐れがあることが判明し、平成18年9月より使用中止となりました。神奈川県内最古の地方庁舎の遺構で、近代海老名の象徴的建物として歴史的価値のある建造物の保存という時代のニーズの中、多くの市民や各方面の方々の「保存すべき」との強い要望により、旧地の西方約150mの新地に一部旧資材を利用、移築、増改築（建築上は新築）し、平成23年4月より新しい“海老名市立郷土資料館・海老名市温故館”としてオープンされました。“古きものを大切にする心”“歴史に学ぶ心”を持ち、古代からの相模の国の歴史を覗いて見てはいかがでしょうか。

設計・監理は海老名支部会員8事務所の参加

する県央エビナ設計協同組合です。

【案内掲示板より】

この建物は、大正7（1918）年に海老名村役場庁舎として建築されたものを一部移築し保存し、復元したものです。

明治22（1889）年の市制・町村制の施行により「海老名村議会」が発足し、国分に「海老名村役場」が設置されました。しかし、明治43（1910）年の国分大火により、建物が焼失。薬師堂（現 国分寺）の庫裏を仮庁舎としていましたが、大正5（1916）年頃から新庁舎の建築が計画され、大正7年に竣工しました。木造2階建て、檼瓦葺、外壁はドイツ下見張りで飾り柱を設け、南正面に切妻造りの玄関ポーチがありました。柱には特徴的な柱頭飾り、玄関ポーチにはバージボードと呼ばれる飾り破風、垂飾り、装飾的な文杖が取り付けられ、全体として



既存解体前



既存垂木撤去状況



既存屋根瓦、下地解体



2階民俗展示室 天井・壁仕上解体(南面)



2階民俗展示室 天井・壁仕上解体(東面)

直線的な素朴な装飾の建物となっていました。この建築様式は郡役所様式と呼ばれるもので、明治から大正時代にかけて役所などによく用いられ、海老名村国分の大工、藤井熊太郎が棟梁となって建築されました。外観を洋風建築とする一方、小屋組みや土台、軸組などは日本古来の建築を踏襲した和洋折衷の建物でした。

【利用案内】

開館 9:00~17:15(入館は16:45まで)
 休館日 年末年始(12月29日~1月3日)
 所在地 海老名市国分南一丁目6番36号
 TEL: 046-233-4028
 入館料 無料

表紙のことば

明治大正期の郡役所様式の建物として外観を残しつつ新装オープンした“海老名市立郷土資料館”です。

今我々にできることは・・・。

先般、皆様の御協力のもと、第一次として先月号で既報の様に義援金をお送りしました、岩手県、宮城県、福島県三県の各単位会様よりお礼を戴きましたのでご報告致します。

(社)岩手県建築士事務所協会 会長 村上勝郎様

時下 益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のご高配を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、この度の東日本大震災に際しましては、過分のお見舞金を頂戴し誠に有り難く厚くお礼を申し上げます。

去る3月11日発生した大地震により、本県沿岸に大津波が来襲し甚大な被害をこうむりました。この津波に流され死亡した方あるいは行方不明の方の把握もできない状態が続き、会員の安否確認もままならない状態でした。また、家屋、自動車、漁船の流失、港湾施設の被害等天然の良港といわれる地区が大被害を被っております。

大地震直後の停電、電話等の通信手段や新幹線、高速道路等交通の途絶、ガス、水道等ライフラインの供給欠如等かつてない被害を受け、加えてガソリン供給不足で被災状況把握もできず焦るばかりの時間が過ぎました。

大震災から1ヶ月半経ち一部ライフラインが回復しましたがまだ不十分で避難している方々の苦労は推し量ることができない状態にあります。」

今後、復興には時間がかかるものと思われませんが、貴会から戴きましたご厚情に感謝申し上げます、一日も早い復興に向け有効に活用させて戴く所存であります。

末筆ながら貴会の益々のご発展と各位のご健勝をご祈念申し上げお礼のご挨拶といたします。

3

(社)宮城県建築士事務所協会 専務理事 松田純也様

真心の励ましのお言葉と御厚志を賜りましたこと心から厚く御礼を申しあげます。

お志に叶いますよう、全力を尽くして復興に努力いたします。

今後ともご指導ご支援を宜しくお願い申し上げます。

有難うございました。

(社)福島県建築士事務所協会 会長 田畑光三様

拝啓 時下ますますご清祥のことと存じます。

さて、この度の東日本大震災に際しましては、ご丁寧なお見舞いを頂き誠にありがとうございました。

本県におきましては、今回の地震による建物災害、大規模な津波の発生、さらには原発事故にまで及びその被害は甚大なものとなりましたが、全国都道府県の皆様のご協力により災害支援とともに本県避難者の救済支援等もいただいているところです。

神奈川会の皆様には多大なご心配をおかけし、恐縮しております。

本協会では住宅及び建築物の応急危険度判定や被災建築物の復旧相談等被害の拡大防止と復興支援に向けて活動を続けております。

今後とも一日も早い復興を信じて会員一同精一杯努めて参りますので貴協会のご指導、ご支援よろしくお願いいたします。

本来なら参上いたし御礼を申し上げるべきところ、失礼ではございますが書面をもって御礼を申し上げます。

貴協会の会員の皆様によりしくお伝え下さい。

今我々にできることは・・・

塩竈、石巻市に行って ～建築に携わるものとして何が出来るのか～

横浜支部 石野 貴史

3月11日に発生した地震・津波被害において、何が出来るか模索しておりました。

その頃、私が在籍している「横浜みなとみらいライオンズクラブ」にて塩竈市に義捐金を送る計画が浮上してきました。それは、市長及び塩竈ライオンズクラブに直接渡し、かつ、現地の状況を視察して今後、継続的な支援として何が出来るかの一助としての行動でした。

経路は、塩竈市から石巻市に至り、復路に福島市を視察するというものでした。

視察する中で、自然力の前では無力と言う事を痛感しました。

阪神大震災では、地震発生による家屋倒壊と火災によつての被害でした。今回は、広範囲にわたる津波によつての被害です。

現在の法規では、火災（防火、防煙、延焼など）に関しては様々な法が制定されており、被害を最小限に抑えられるように考えられています。これは、建築物自体の性能によつて抑制できる仕組みになっているという事です。しかし、津波による被害に対しては、過去の経験や日常の訓練などの地域全体のコミュニケーションによる回避しかないように思えます。建物単体の性能では防ぐことができない無力さを痛感しました。東京都が延焼を防ぐためのマンション群があるように地域・都市・建物が一体となった形、それを可能とする法整備、見せかけの物ではなく、より根本に近いものを模索する必要があるように思います。

私個人は、まだまだ未熟な部分があり、自分では何もできませんが、努力していきたいと思ひます。以前の姿に戻すことは大変なことだと思ひます。また、新しい物を創作することも難しいと思ひます。しかし、温故知新の精神で創作して行くしかないのではないのでしょうか。

最後に被災された方々の一日でも早い復興を願っております。



塩竈市：津波による被害



石巻市：日本製紙



石巻市



塩竈市長：航空写真の前にて復興の意欲を唱える



石巻市：津波による被害



山縣有朋公ゆかりの国登録有形文化財 暁亭

横浜支部 佐藤 光良

今回は芝副会長からこの建物を紹介戴きました。明治の元勳で、内閣総理大臣を第3代・第9代と務め、枢密院議長を3代務めた公爵山縣有朋が、古希を記念して小田原市板橋（当時は足柄下郡大窪村板橋）の南向き傾斜地（約3500余坪）に、和風木



造平屋の本館・伊東忠太設計の木造2階屋の洋館（現在栃木県那須の山縣有朋記念館として使用）とジョサイア・コンドル設計の



レンガ造平屋と、1400坪弱の庭園で構成された別荘「古稀庵」が明治40年に建てられました。その一郭に夫人の離れ家として建築された「暁亭」がこの建物



です。此の暁亭では、明治43年大正天皇がまだ皇太子の頃に休憩されたそうです。又茶室は、小田原三茶人の一人として有名で電気の鬼と称された松永安左衛門が愛用して



いました。当時の小田原には、伊藤博文を始め政財界の要人や

皇族等が別荘群を形成し、後にはこの板橋に三井財閥の実業家益田孝や大倉喜八郎が別荘を構えました。有朋は現在の目白椿山荘も所有していましたが、庭作りに一流の庭師を雇い相当のエネルギーを注いでいたようです。ところが、原三溪から「三溪園に較べ、瀧の流れの響きに生命を感じられない」と評され、相当悔しかったとのこと。流石に原三溪ですね。有朋は死ぬまでここで暮らし、大正11年83歳で逝去。それほど気に入っていたようです。

昭和61年3月、解体される運命にありましたが、当時の所有者が箱根湯本ホテルに譲渡してくれたことにより、現在地に移築され豆腐と蕎麦等の懐石料理店として活用されています。また、現在板橋の古稀庵はあいおいニッセイ同和損害保険の小田原研修所になっていて、毎日曜日には素晴らしい庭園が一般公開されています。箱根に行かれた際はぜひ足をお運びください。



所在地：箱根町湯本茶屋184 暁亭

電話：0460-85-7330

暁庵蕎麦御前が2500円で戴けます。

第2回 神事協「地引網」大会 開催報告



5月15日、片瀬海岸は快晴。バーベキューを囲んでの交流を楽しみながら、地引網の引上げ時間をわくわくしながら待っていると、集合の号令がかかりました。いよいよメインイベントの始まりです。

「がんばれ！がんばれ！」。響き渡る掛け声と右手に富士山、左手に江の島が見える絶景の中、参加者の手によって2本の綱が力強く引き上げられていきます。これが、波打ち際と綱を巻き上げるモーターとの間を何往復もしなければならない重労働！小さなお子さんたちが楽しそうに砂浜を何往復もし、大活躍してくれていました。そし



事務局 坂本 歩美

て、姿を現した巨大な網。固唾を飲んで見守る中で開かれると、そこには溢れかえるほど沢山のシラスが！大漁に自然と沸き起こる歓声と拍手。達成感にみんなが笑顔になっていました。その後、振る舞われた出来立ての釜揚げシラスは、とってもふっくらとした食感で感動的な美味しさでした！

生シラスにアジという豪華なお土産もあり、参加された皆様も大満足な1日となったのではないのでしょうか。当日は160名の方々にご参加いただきました。開催して下さったブロック支部委員会の皆様、ありがとうございました。次回の開催を心待ちにしております！

日本丸メモリアルパーク GWイベント出展報告

ブロック支部委員会 委員長 白井 勇

去る5月5日、横浜・桜木町にある日本丸メモリアルパークにて行われたゴールデンウィークフェスティバルに神事協としてブース出展をいたしました。あいにくの曇り空ではありましたが、「住・緑・家」の作品や東日本大震災の現地写真などのパネル展示、建築相談コーナーの設置を行い、また神事協並びに「住・緑・家」PRパンフレット、県産材檜チップなどの配布など一般消費者へのPR活動を行いました。子供の日ということもあり、お子さん連れのご家族にはお菓子の配布も。

そして、本年9月9日（金）～10日（土）の2日間、同会場にて会員の皆様や一般消費者など内外に向けた神事協主催のフェアを開催します。現在、賛助会との合同にて実行委員会を組織し準備を行っております。皆様におかれましてもご協力の程、宜しくお願いたします。



シリーズ

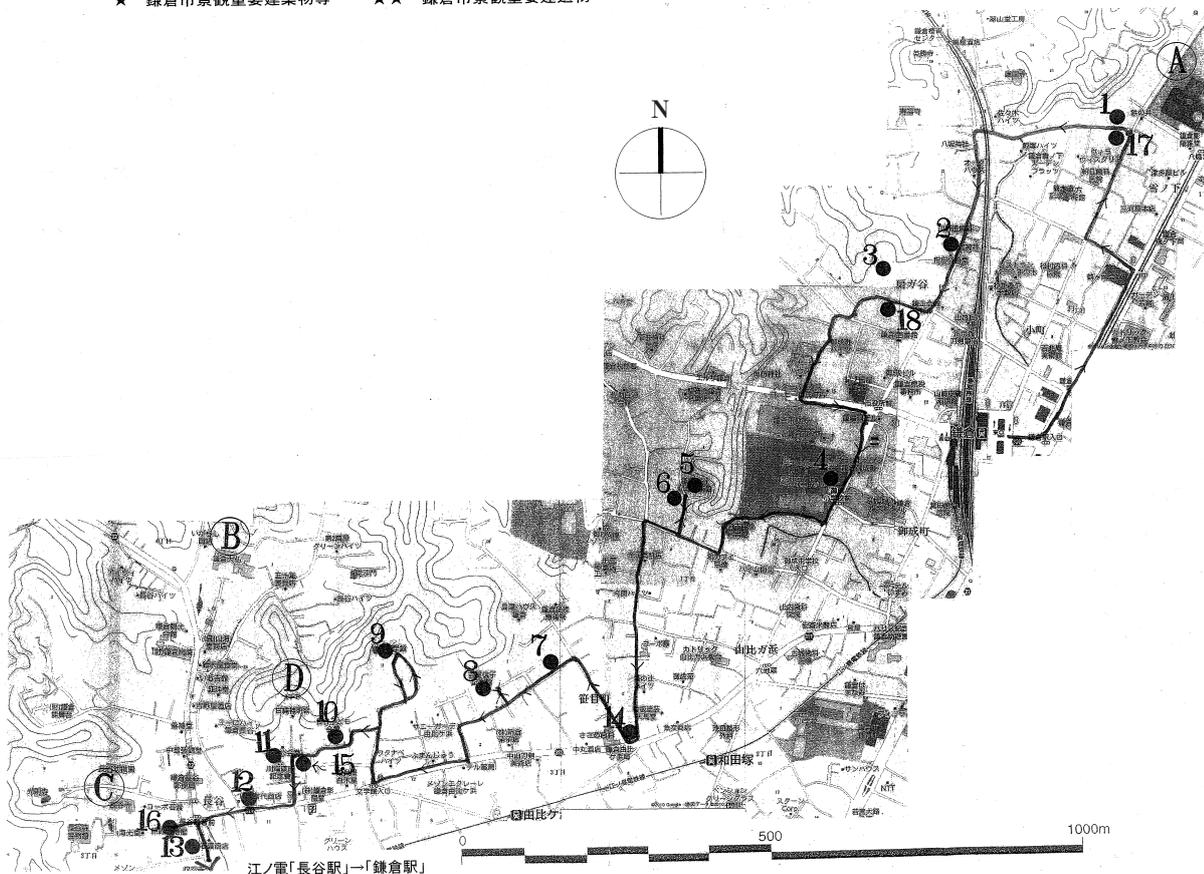
町並み散策ぶらり in 神奈川 鎌倉編

10	★長谷子ども会館 (旧諸戸邸) 明治41年(1908)	6	★笹野邸 昭和3年以前(Pre1928)	1	★★旧川喜多邸別邸 元和辻哲郎邸 川喜多映画記念館
11	川端康成邸 昭和21年から居住	7	セトウワウ株式会社 企画住宅 1988-1992 「イヌ・ブツボ」 建築家との協働住宅6件 早川邦彦、長谷川逸子、 伊藤豊雄、益子義弘、 阿部勤(2件)	17	★石島邸 大正末～昭和初期 元川喜多夫妻の別邸
12	★のり真安齋商店 大正13年9月			2	○設計建築事務所 (鎌倉支部会員)
13	★白日堂 昭和15年	8	吉屋信子記念館 設計：吉田五十八 施工：水澤工務店 昭和37年(1962)	18	★高野邸 昭和8年頃
14	★寸松堂 昭和11年12月			3	古我邸 大正5年 荘清次郎別荘
15	★加賀谷邸 建築年 不詳	9	★鎌倉文学館 (旧前田侯爵邸) (国登録有形文化財) 昭和11年(1936) 明治23年和風建築焼失	4	御成小学校 旧校舍;昭和8年(1933年)
16	★旅館対僊閣 昭和2年初頭			5	大谷記念美術館 (旧大谷別荘) 2009年12月より休館

(A)	鶴ヶ岡八幡宮
(B)	(大仏寺) 大興山高徳院 清浄泉寺
(C)	(長谷寺) 海光山慈照院長谷寺
(D)	甘縄神明宮

★ 鎌倉市景観重要建築物等 ★★ 鎌倉市景観重要建造物

7



- 1 川喜多映画記念館
(元川喜多邸 解体後、建設)



上 解体前の塀、元川喜多邸

- ★★ 下 元和辻哲郎邸 (川喜多氏はゲストハウスとして使用)



←玄関
↓南面



- 2 O設計建築事務所
(鎌倉支部会員の事務所)



民家を移築して事務所に。
会誌の表紙に掲載。

- 5 大谷記念美術館



写真：鎌倉大谷記念美術館 HP
現在休館中
ネット資料：「大谷記念美術館」
ホテルニューオータニ前会長の鎌倉別邸を別邸を1997年に邸宅美術館として開館。

- 6 笹野邸



昭和3年 横浜正金銀行頭取伊東氏が住宅として建築。所有者が変わっているが建築敷地は現在も2,500㎡程度あり、創建当時の庭園が樹木とともに残されている。
非公開。
延床面積 395.92㎡

- 4 御成小学校



昭和8年御用邸払下げ地に竣工、現在保存

- 7 セキスイハウス企画住宅6件
1件は建て替え済み



有名建築家5人による企画住宅



右奥は長谷川逸子氏の設計

- 8 吉屋信子記念館

○



写真：神奈川の建築物100選 HP
プレス：吉屋信子記念館

- 9 鎌倉文学館(旧前田侯爵邸)

★



ネット資料：「鎌倉文学館」
で多数あり

- 10 長谷子ども会館(旧 諸戸邸)

★



明治41年株仲買人、福島浪蔵氏の別邸として建築。大正3年三重県桑名出身の富豪諸戸清六別邸となる。関東大震災にも建物は健在で震災時の救療本部として用いられる。
昭和55年に鎌倉市へ寄贈された。創建当初は、洋館の他に和風棟、広大な敷地には庭園があったと考えられている。

- 11 川端康成邸

○



ノーベル賞文学者 川端康成氏の住宅(非公開)

- 12 のり真安齋商店

★



大正13年建築。大正2年創業、農水産物加工問屋卸商店(乾物屋)。近世の商家の姿をとどめている。
延床面積 153.59
別棟 157.09㎡

- 13 白日堂

★



戦前の鎌倉彫りの工房兼住宅を代表する貴重な遺構。
延床面積 205.19㎡

- 14 寸松堂

★



昭和11年、店舗(鎌倉彫)併用住宅
面積 421.22㎡

- 15 加賀谷邸

★



背の高い洋館と和風の母屋、和風庭園
延床面積 312.6㎡

- 16 旅館対僮閣

★



昭和2年竣工。戦前の和風旅館の佇まいを残している。
延床面積 393.99㎡

- 17 石島邸(元川喜多別邸)

★



大正末から昭和初期建築。川喜多夫妻の別邸。
延床面積 229.25㎡

- 18 高野邸

★

○



昭和8年頃建築。
延床面積 155.04㎡

番号は地図の建物番号を示します。

- ★ 鎌倉市景観重要建築物等
- ★★ 鎌倉市景観重要建造物
- はホームページ (HP) より写真転載

<http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/keikan/kezyuyou.html>

(作成：鎌倉支部 服部綾子)

～支部だより～

横浜支部 定時総会報告

横浜支部 川島 良夫



5月18日水曜日午後2時より総会が出席者61名によりホテルモントレ横浜にて開催されました。

今回の主題は横浜支部が去年まとめあげたプロジェクトYの報告と今後の方針と、横浜市建築事務所協会の一般社団法人化を決定する審議にありました。(社)神事協横浜支部と横浜市建築事務所協会(浜建)という2つの名前をもち歩んできた40数年にピリオドをつける大きな動きの1年になります。いろいろな意見を拝聴してまいりましたが、私なりに横浜支部と浜建の

分離はまぎらわしさが無くなり動きやすくなるのではと思っております。今年1年各設立に携わる方々のご苦勞を思いながら総会は無事終了となりました。

引き続き、来賓24名賛助会員10数名を招き、100名を超える出席者にて交流会が行われました。大震災の復興最中の交流会に躊躇する意見がありましたが、災害地元のお酒もふるまわれ和気あいあいとおこなわれたことには親睦も深まり良かったと思っております。



川崎支部 定時総会報告

川崎支部 恩田 耕爾



平成23年5月17日、武蔵小杉のユニオンビルで第35回川崎支部定時総会が開催されました。総会、記念コンサート、交流会の3部構成で行なわれました。第一部では白井支部長の平成22年度経過報告、平成22年度会務・事業報告、平成23年度事業計画案審議・承認及び予算案等が承認され、役員改選が行なわれ、新支部長には田辺真一郎現副支部長が選任されました。白井現支部長の「向上」・「交流」・「貢献」の3つのコミットメントに新支部長は「競争力」を追加されました。大いに期待したいところです。第2部には白井支部長の粋な計らいで、昭和音大卒業生の女性グループによるコンサート(ボーカル、オーボ

エ、マリンバによる)が行われました。「おじさんの11ヶ月」から「オーソレミオ」まで8曲、会場は盛り上がり、アンコールには「ハバネラ」を演奏下さいました。第3部の交流会では賛助会員、本会上原会長、小林副会長、芝両副会長のご臨席のもと多くのご来賓のご出席を賜り盛大に行なわれました。来賓には衆議院議員はじめ、川崎市長(代理として、川崎市まちづくり局指導部長毛塚尚男様)、建築士会川崎支部長ほか多くのご来賓の方々からご挨拶とご期待のお言葉を賜り、新しい支部長のもと会員の皆さんの期待も膨らみました。新体制のもと頑張っていきたいと思っております。



9

横須賀支部 定時総会報告

横須賀支部 小泉 厚



横須賀支部平成23年度定時総会は4月22日横須賀市勤労福祉会館において、東日本大震災の犠牲者及び物故会員への黙祷の後、開催されました。本年度は2年に一度の役員改選の年となり、新たな役員と共に、前期に引き続き安田支部長が支部長として承認され、新たな組織体制で動き出しました。例年では総会の後、

懇親会が開催されますが、今年は3月時点における計画停電の混乱を考慮し取り止めとなりました。

総会終了後、非木造耐震改修委員会(渡辺幸範委員長)より東日本大震災被災地報告が行われ、自然の驚異そして私たちのこれからの業務の役割をあらためて考えさせられる機会となりました。最後に、多くのご来賓の皆様、御出席頂きまして有難うございました。

～支部だより～

相模原支部 定時総会報告

支部長 西倉 哲夫



4月21日（木）に相模原市民会館において相模原支部の平成22年度定時総会を開催致しました。今年は3月11日に発生した東日本大震災の被災者の方々に配慮して、来賓の方々をご招待した懇親会の開催を自粛いたしました。

総会は午後3時から始まり5時に終了致しました。今回は東日本大震災の被害者への黙祷から始まり、建築士憲章の朗読により開会しました。議事は22年度事業報告・決算報告・会計監査報告、23年度事業計画案・予算計画案が審議

され承認されました。次に新役員候補が承認され議事はつつがなく行われました。その後、小林副会長の本部報告が行われ、今回新支部長となった私が就任の挨拶を行い、その後に福永前支部長に感謝状を贈呈して閉会となりました。

また、今年は総会開始前に福永前支部長と私と佐藤眞吾財務担当副支部長の3人で相模原市・加山俊夫市長へ支部会員の総意である義援金40万円をお届けいたしました。相模原市はJAXAの宇宙科学研究所がある関係で岩手県大船渡市と銀河連邦友好都市となっており、相模原市から大船渡市へ渡されることになっております。



10

県西支部 定時総会報告

県西支部 山口 雄



先日、県西支部平成23年度第49回定時総会が行われました。

当日は初夏を思わせるような陽気の中、出席していただいた方々にはこの場を借りてお礼を申し上げます。おかげさまで滞りなく終了することができました。

また今年度は役員改選がありました。前支部長の川村さんより、新支部長の小林さんにバトンタッチされ、新役員体制のもと平成23・24年度を運営していくこととなりました。

前支部長の川村さん、20数年間会の運営に携っていただき本当にありがとうございました。お忙しいとは思いますが、今後も支部の活動に

顔を出してください。

そして新支部長の小林さん、新役員の方々、本年度もよろしくお願いいたします。

このように新体制のもと本年度がスタートしましたが、今年3月にありました東日本大震災以降皆さんの中でも、何かしなければいけない、何か変えなければいけないという気持ちが少なからずあると思います。

そのような状況の中、自分を取り巻く環境も含み、今後の会の運営自体も考え直す時なのではないかと考えます。



社団法人神奈川県建築士事務所協会

第55回通常総会 (平成22年度決算総会) 開催報告

日 時 平成23年5月25日 (水)
午後1時30分～午後3時45分
場 所 ロイヤルホールヨコハマ
横浜市中央区山下町90

- ◇司会者 根岸総財務委員長
- ◇開会の辞 吉川副会長
- ◇物故会員並びに東日本大震災被災者に黙祷
- ◇会長挨拶 上原会長挨拶 (要旨)
平素は会員の皆様のご協力を賜り、誠にありがとうございます。建築士法上の法廷団体となつて2年となりますが、平成22年度も建築設計業務の適正化・消費者保護などを積極的に行い、それらの事業報告を本日させて頂きますのでよろしく願いいたします。3月11日に発生した東日本大震災においては仲間である単位会も被災し、彼らを支援するために会員の皆様から義援金を募り、ご協力の結果、岩手会・宮城会・福島会に対し50万円ずつを義援金として送ることができました。今後も引き続きいろいろな形の支援を行っていきたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。

また、本日は公益法人制度改革に係る移行方針についての報告もさせて頂きますので、よろしく願いいたします。

- ◇定足数 司会者により定足数確認
会員数 780名 (過半数は390名)
議場出席者 71名
委任出席者 342名
出席者総数 413名
以上、定款第24条による総会の成立を報告。
- ◇正副議長の選任
議長 県西支部 川村 昇支部長
副議長 愛川支部 矢後孝昭支部長を選任。
- ◇議事録署名人の選出
議事録署名人 会長上原伸一氏、横浜支部磯田和良氏を選出。
- ◇第1号議案 平成22年度事業報告承認の件
議案書2～31頁により、平成22年度事業報告について小林副会長より説明。
- ◇第2号議案 平成23年度収支予算案承認の件
議案書32～47頁により、各会計について宮下総財務副委員長より説明。
なお、35頁に下記の誤りがあったため、修正をお願いした。
(誤) ③管理費支出
(正) ②管理費支出
- ◇監査報告 鈴木監事より平成22年度監査報告を行う。
(質問) 相模原支部 永田 健司氏
東日本大震災のような災害が起こった場合を想定し、什器備品の保険には入っているのか。
(回答) 三杉専務理事
保険には加入しており、保険料は管理費

の雑支出に含まれている。

- 第1号・第2号議案について一括して承認を求め、議場満場一致にて、これを承認。
- ◇第3号議案 役員改選承認の件
議案書48頁及び平成23・24年度役員候補者名簿により上原会長より説明。
理事・幹事候補者の紹介を行い、平成23・24年度理事、監事の承認を求め、議場満場一致にて承認。
続いて、議長は議事を中断し別室にて臨時理事会を開催し、会長・副会長を互選することを宣言する。臨時理事会終了後、上原会長より新会長・新副会長の紹介、挨拶を行う。
新会長 川崎支部 上原 伸一氏
新副会長 相模原支部 小林 忠志氏
 県西支部 芝 京子氏
 座間支部 椋 茂廣氏
- ◇第4号議案 顧問推戴案承認の件
議案書48頁により上原会長より説明。顧問5名、相談役2名、参与7名の承認を求め、満場一致にて、これを承認する。
- ◇公益法人制度改革への対応に係る移行方針の報告
配布資料により上原会長より、公益法人制度改革への対応に係る移行方針について説明。平成23年4月20日開催の理事会で承認された移行方針について報告。
続いて、別紙により三杉専務理事より詳細説明。
(質問) 川崎支部 福井 綾子氏
3.移行方針(2)にある、公益社団法人に移行する必要が生じた場合とは、どのような状況を想定しているのか。
(回答) 三杉専務理事
一般社団法人移行後、会員の意志が公益社団法人を目指す可能性もあることを見据えてのことで、現時点では一般社団法人から公益社団法人への移行の具体的な想定はしていない。
(質問) 川崎支部 福井 綾子氏
上部団体である日事連の移行方針は現在どのようになっているのか。また、日事連と単位会に食い違いが出ないように、移行方針を合わせる必要はないのか。
(回答) 三杉専務理事
日事連は一般社団法人を目指している。また、単位会に対しては、公益社団法人・一般社団法人のどちらを目指しても構わないとしている。
(回答) 上原会長
日事連は上部団体ではあるが、日事連と単位会はあくまでも別法人であるため、各々の独自性を尊重するとしている。
- ◇閉会の辞 芝副会長

第14回(社)神奈川県建築士事務所協会 委員長会報告

開催日：平成23年5月19日（木）
 会場：(社)神奈川県建築士事務所協会2F会議室
 出席者：12名出席 事務局2名 計14名

○2年間の活動報告・次期委員会への要望および委員会活動報告

【総財務委員会】

- *収入増につながる新たな事業の検討について
- *ボランティアスタッフへの登録の呼びかけについて
- *賛助会の担当委員会および事務局内の担当について

【技術調査委員会】

- *今後の講習会実施予定について
 - ・6月3日 環境省エコハウスモデル見学会
 - ・7月4日 震災復旧のための震災建築物の被災度区分判定基準および復旧技術指針講習会
- *次期委員会の検討課題について

【企画業務委員会】

- *講習会スケジュールの調整について
- *各委員下の部会（ワーキンググループ）設置検討について

【広報情報委員会】

- *表紙デザインを刷新等、2年間のまとめについて
- *震災緊急特集号の発行と同テーマにおける今後の展開について
- *阪急交通社との提携について

【ブロック支部委員会】

- *会員事務所の業務協力等紹介アンケートについて
- *会員増強活動および新規開設事務所講習会の開催について

【設計監理指導委員会】

- *調査鑑定登録事務所の登録件数について
- *苦情相談件数の傾向について
- *建築実務マニュアル「机の隅に」発行に伴う講習会開催について

【「住・緑・家」運営特別委員会】

- *次期委員会の体制について
- *「住・緑・家」コンペ 件数について

【木造特別委員会】

- *次期委員会の体制について
- *次期委員会での課題について
- *建築Q&Aの作成と会報誌への掲載について

○会議室のパーティション撤去について

○各委員会への要望及び依頼について

- *みらいふれあい祭りinかながわ開催について
9月9日（金）～10日（土）の2日間、日本丸メモリアルパーク

*明治大学菊池教授からのアンケート依頼について

○その他

- *第55回通常総会の出欠回答提出の要請について

※詳細は神事協ホームページをご覧ください。

12



賛助会フェア開催報告

神事協・賛助会 広報委員長 岩月 直人

神事協ご加盟の
 本会会員様には平
 素は格別のご高配
 を賜り、厚く御礼申し上げます。

5月25日（水）、ロイヤルホールヨコハマにて第18回神事協・賛助会通常総会が開催され、毎年恒例の「賛助会フェア」を開催致しました。本年度は賛助会員の出展数は昨年より1社増の26社が出展。

各企業それぞれが熱心に自社商品のPRを行い、情報収集をして頂くと共に、最も大事な「本会員の皆様とのコミュニケーション」を図る事ができ、賛助会員にとっても有意義な時間となりました。また、賛助会ホームページ上にも新商品や会員情報をご提供しておりますのでご活用をお願い申し上げます。今後とも賛助会員をお引き立てのほど宜しくお願い致します。

会員の広場

箱根町観光協会 箱根フォト百選

横須賀支部 増田 務

昨年11月某日、箱根方面は雨、強風でケーブルカーも運休をよぎなくされていました。

しかし、翌日はうって変わって雲ひとつない快晴。

今日は「ラッキー」とゴンドラに乗って大涌谷へ……。

眼と鼻の先には雄大な富士山が見てとれ、観光客の誰もが富士山をバックにシャッターの嵐、嵐。まあそれはそれは見事な富士山でした。

その年に2回ほど箱根に行きましたがいずれも曇りで残念ながら、富士山を見ることが出来なかったのがなお一層、感激しました。桃源台から海賊船に乗り県立箱根恩

賜公園に。ここは眼下に芦ノ湖、向かいには富士山と沢山のビューポイントがある場所です。

公園の中央には旧離宮の西洋館 湖畔展望館がありその2階バルコニーから、公園・芦ノ湖・富士山を撮影した1枚が今回入選を果たしました。去年は力作が多く審査を2回行ったそうです。期待していなかった1枚が偶然、選ばれましたので嬉しく思っています。また、莫大な賞金を箱根町観光協会から頂き箱根町には感謝いたします。今年も季節を変えて撮影に行きます。

乞う御期待!



13

? 旅のクイズ 第11回 ? ? ?

問題

写真の駅名をお答え下さい。

ヒント：震災で東北方面にボランティアでいかれる方が多いですが、この駅からのボランティアは少ないと報道されています。



答えをメールまたはFAXにて神事協事務局までお寄せ下さい。正解者の中から抽選で御一人に1000円の図書券を差し上げます。

(FAX : 045-212-3807 E-mail : noguchi@j-kana.or.jp)

※締め切り：平成23年6月20日（月）当選者は7月号にて発表予定です。

※広報情報委員と事務局員及び家族の方のご応募はご遠慮ください。

前回(5月号)の正解は下記の通りです。

正解：山形県で製作され、長さは4.5mでした。

正解者：横浜支部 (株)サトー恵建築事務所 佐藤 恵様

大わらじ
この大わらじは、山形県村山市の奉賛会によって奉納されている。延べ人員800人、一ヶ月をかけて制作されたものである。重2500キログラムを要し、大変な労力が必要で、まさに信心の結晶といえる。昭和16年(1941)の奉納を契機に、宝蔵門再建後は、約10年に一度作られている。全長は4.5メートル。
わらじは、仁王さまのお力を表し、「この様な大きなわらじを履くものがこの寺を守っているのか」と驚いて魔が去っていくといわれている。また、徳御を祈ってこのわらじに触れていく人もいる。

金龍山 浅草寺

O-Waraji
This pair of huge traditional straw sandals called "O-Waraji" had been made by 800 citizens of Maruyama City in a month and devoted to Sensoji. O-Waraji is made of straw and 2500 kilograms in weight, 4.5 meters high.
They are the charm against evils because they are symbolic of the power of "Ni-Ou". Wishing for being goodwalkers, many people will touch this "O-waraji".

(前回の答え)

会員異動報告	
入会	
横浜支部	
ガリユウ建築設計事務所 〒226-0011 横浜市緑区中山町99 TEL.045-937-3698 FAX.045-937-3761	金子 泰夫
(株)ノアニフィール 〒232-0023 横浜市南区白砂町4-56-202 TEL.045-341-4461 FAX.045-341-4462	神田 彰徳
(株)アミック 〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央4-36-1 TEL.045-510-4317 FAX.045-510-4318	丸山 一男
川崎支部	
(有)アトリエ アイズ 〒216-0005 川崎市宮前区土橋7-25-17 TEL.050-3600-6624 FAX.020-4662-3318	今井 博康
鎌倉支部	
建築再生工房 (株)タケウチ一級建築士事務所 〒248-0033 鎌倉市腰越3-14-5 TEL.0467-32-7038 FAX.0467-32-7019	平澤 賢一
厚木支部	
双栄建設一級建築士事務所 〒243-0004 厚木市水引1-14-15 TEL.046-225-1855 FAX.046-225-1833	小山内 豊
変更	
横浜支部	
権設計企画工房(株) (所在地変更) 〒220-0071 横浜市西区浅間台12-12 TEL.045-620-0117 FAX.045-620-0118	
(株)A & A 設計室 (所在地変更) 〒233-0002 横浜市港南区上大岡2-14-12 上大岡三和プラザⅡ-101 TEL.045-845-2600 FAX.045-841-8955	
(株)ランドブレイン (会員名変更) 小野寺 徹 (株)大林組横浜支店一級建築士事務所 (所在地変更) 〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-23-2 TSプラザビルディング7F TEL.045-410-1855 FAX.045-412-3172	
川崎支部	
(株)インベ建築設計事務所 (所在地変更) 〒215-0012 川崎市麻生区東百合丘3-26-1-406	
賛助会員異動報告	
入会	
ケイエムプロジェクト 〒232-0063 横浜市南区中里4-36-16 TEL.045-741-7953 【代表者・担当】金子 正彦 【業種】撮影、編集、看板制作、各種印刷、ホームページ作成等	
変更	
(株)INAXサンウエーブマーケティング (会社名変更)(株)LIXIL 神奈川支社みなとみらい支店	

会 勢		平成23年6月2日現在			
支部名	平成23年3月末日	現在	入会者	退会者	増減
横 浜	270	274	4	0	4
川 崎	91	95	5	1	4
横 須 賀	55	55	0	0	0
湘 南 三 浦	21	20	0	1	-1
藤 沢	22	22	0	0	0
鎌 倉	32	32	1	1	0
茅ヶ崎葉川	16	16	0	0	0
平 塚	21	21	0	0	0
伊 勢 原	8	8	0	0	0
秦 野	18	18	0	0	0
大和綾瀬	22	22	0	0	0
厚 木	37	38	1	0	1
座 間	13	13	0	0	0
海 老 名	13	13	0	0	0
愛 川	9	8	0	1	-1
相 模 原	88	86	0	2	-2
県 西	49	45	0	4	-4
合 計	785	786	11	10	1
賛助会員	68	72	5	1	4

6月の行事予定	
6月1日	建築実務ガイドブックの隅に「講習会(会場:横浜情報文化センター 情文ホール)
2日	総財務委員会
3日	JW-CADRC(造編)研修会1日目(会場:県立東部総合職業技術校) 環境省エコハウスモデルの見学会(方面:山梨県)
5日	神事協ウオーキング
6日	広報情報委員会
8日	賛助会事業計画検討会
9日	正副会長会 理事会
10日	JW-CADRC(造編)研修会2日目(会場:県立東部総合職業技術校)
13日	設計監理指導委員会
15日	建築士定期講習(会場:パシフィコ横浜アネックスホール)
17日	建築実務ガイドブックの隅に「講習会(会場:藤沢産業センター7階 第一会議室)
18日	住・緑・家利用物件 平塚市諏訪町会館見学会
21日	木造特別委員会
23日	総財務委員会

編集後記 昨年秋、神野直彦氏の『「分かち合い」の経済学』という本に出会った。そのなかで、「分かち合い」の原理は、競争原理の反対概念であり、他者の成功が自己の成功となり、他者の失敗が自己の失敗となる協力原理にもとづく組織を要求する。一とあった。このような理念が現実になるのは、一体いつのことか・・・と思わず溜息が出た。ところが、この「分かち合い」の精神で、今回の震災の被害を乗り越えようとしている岩手県重茂漁港の協同組合長の奮闘を知った。組合長は、運よく無事であった数隻の船とその漁獲を組合員全員でシェアし、少しずつ船を買い戻して、全員へ船が行き渡るまで船も漁獲も共同のものとする。一という画期的なアイデアを提案して皆の賛同を得たそうだ。今回の震災で、日本人の意識が大きく変わりはじめています。「分かち合い」の経済は夢ではなく、その必要性に目覚めた人々が既に着実な歩みをはじめています。

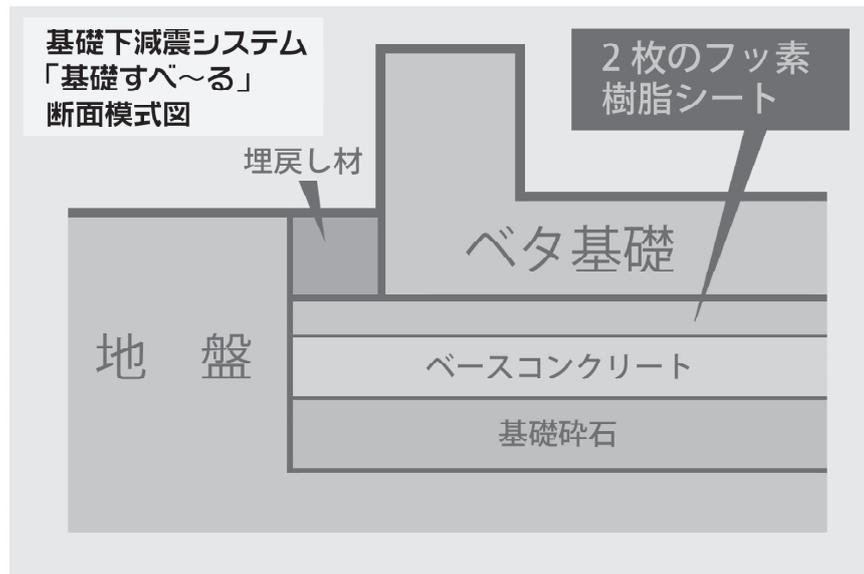
(横浜支部 後藤 かをり)

かながわ 平成23年6月号 (通号356号)

発行 平成23年6月1日 (毎月1日発行)
 発行人 上原 伸一
 発行所 社団法人 神奈川県建築士事務所協会
 〒231-0032 横浜市中区不老町3-12
 第3不二ビル2F
 TEL. 045-228-0755
 FAX. 045-212-3807
 印刷所 株式会社 柏苑社

・ 担 当 副 会 長 小林 忠志
 ・ 広 報 情 報 委 員 長 佐藤 光良
 ・ 広 報 情 報 副 委 員 長 吉田 宣郎 川島 良夫
 ・ 広 報 情 報 委 員 稲葉 勉 遠藤 世一
 ・ 恩田 耕爾 小泉 厚
 ・ 後藤かをり 杉崎 雅治
 ・ 竹尾 秀一 新倉 良一
 ・ 野口 友弘
 ・ 事 務 局

戸建住宅に使える 地震対策に新システム登場！！



大地震の揺れを
大幅にカット！

安価な施工費 60㎡で **150万円** (標準)

■大地震から家族と財産を守ります！

地盤と基礎の間に特殊なシート（フッ素樹脂シート）を挟み込むだけで、震度7クラスの大地震時においても、建物の揺れを震度5強（2.50gal）以下に低減させることができます。よって、家具等の転倒を防ぎ、家族の命を守ります。

■免震より大幅に安く、制震より効果が大きい！

建築面積 60㎡の住宅の場合、免震より大幅に安く、150万円程度の負担で施工可能！
1階部分を含む建物全体の揺れを大幅に低減できる点で、制震よりも大きな地震対策効果を得ることができます。

■シートを敷設するだけの簡単施工・メンテナンスフリー！

数時間でシートを敷設することができる、非常に簡単な施工です。
※砕石とシートの上にベースコンクリート（100mm厚・メッシュ筋φ5mm）の打設が必要です。

■確認申請も通常通り！

確認申請についても一般住宅と同様の方法で申請が可能です。
最も揺れやすい軟弱地盤（第3種地盤）での施工も可能です。

「基礎下減震システム」
基礎すべ〜る！！

免震でもない、制震でもない「減震」という新しい発想！

財団法人 ベターリビング 技術審査証明取得済
ビック株式会社

神事協担当：小沼孝男 090-2178-0966
〒113-0021 東京都文京区本駒込6-12-16 onuma@vic-ltd.co.jp
TEL:03-3947-7381 FAX:03-3947-7321 HP <http://www.vic-ltd.co.jp>